

湧水に陥りやすい原因と課題

佐世保市の年間降水量は平均 1,950 ミリ程度となっており、全国平均の約 1,690 ミリと比較しても比較的多い都市であると言えます。一方で、本市は平野部が少なく急峻な斜面地が海際まで迫っている特徴的な地形をしていることから、急勾配で小さな河川しか存在せず、陸地に降った雨はたちまち海に流れ出てしまいます。

そのため本市の河川は、普段は常に川底が見えるほど水が少なく、大雨が降ると、一気に水が流れることから、あっという間に水位が上昇しますが、次の日には元の水位に戻ってしまいます。このような本市の地勢条件によって、本市は水の確保が困難であることから、降った雨をダムに蓄える必要があります。

しかし、長崎県自体が水資源に恵まれない地勢にあり、とりわけ本市の地形では大きなダムを造ることはできず、全国には一つのダムで数億m³もの容量のものがある中、本市は佐世保地区の6つのダム全ての容量を合計しても約 640 万m³（長崎市の神浦ダムとほぼ同量）しかありません。

次回以降に詳しく説明していきますが、本市の場合は、ダムの貯水率が 100% であっても絶対量が決定的に不足しているため、湧水に対する抜本的な解決策は水源の絶対量を増やすことが重要です。

水道局総務課、水源対策・企画課 ☎ 24-1151

全国のダム（容量順）

	名称	容量
1	奥只見ダム（新潟県）	4 億 5800 万m ³
2	徳山ダム（岐阜県）	3 億 8040 万m ³
3	田子倉ダム（福島県）	3 億 7000 万m ³

県内のダム（容量順）

	名称	容量
1	神浦ダム（長崎市）	628 万m ³
2	萱瀬ダム（大村市）	594 万m ³

佐世保市のダム（容量順）

	名称	容量
1	下の原ダム	218 万m ³
2	川谷ダム	161 万m ³
3	菰田ダム	146 万m ³
4	山の田ダム	55 万m ³
5	相当ダム	40 万m ³
6	転石ダム	23 万m ³

市からの広報番組など

文字情報とアナウンスでお知らせする「させぼ市政だより」と市長が出演する「キラっ都させぼ」を民放4局（週替わり）で約5分間放送しています。どうぞご覧ください。

土曜 9:25 NBC、11:45 KTN、17:25 NCC、日曜 6:30 NIB

「キラっ都させぼ」第1・3土曜 NBC、KTN 第2・4土曜 NCC 第2・4日曜 NIB

※「キラっ都させぼ」はテレビ佐世保でもご覧いただけます（毎週日曜 18:55）。

- FM長崎（5分）火曜 9:05 ● FMさせぼ（55分）金曜 13:00、16:00（再放送）、土・日曜 8:00（再放送）● 長崎新聞 毎月第2・4火曜 ● NBC長崎放送「dボタン」



YouTube版



プレゼント応募



市長日記 黒島島民に受け継がれてきた心のあり方が世界遺産に



6月30日、バーレーンで開催された世界遺産委員会において、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産として登録されることが決まりました。その12の構成資産の一つで、黒島天主堂を有する「黒島の集落」が佐世保

市として初めて世界遺産となったことは、「九十九島」が「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟したことに続いての快挙であり、市民の大きな喜びであります。黒島地区の住民の皆さまはもとより、佐世保市民の皆さまと共に喜び、お祝い申し上げたいと思います。

このたび世界遺産となった「黒島の集落」では、江戸幕府の禁教令の下で、密かにキリスト教への信仰を続けていた「潜伏キリシタン」約600人が外海から黒島に移り住み、仏教徒を装いながら信仰を守り続けました。そのあり方が、潜伏キリシタンに限られた状況の中で、既存の社会や宗教と共生しながら密かに信仰を守り伝えた「潜伏」という世界でもまれに見る伝統を示す物証として、世界遺産にふさわしいと評価されました。

長い潜伏の歴史を経て、明治政府によりキリスト教の禁教令が撤廃されると、信徒たちは代々守り続けてきた信仰を公にすることができるようになりました。そして、信徒たちの手によって島の中心部に初代黒島天主堂が建てられ、潜伏の伝統は終わりを迎えました。

現在の黒島天主堂は、フランス人宣教師マルマン神父の設計と指導の下、カトリック信徒の献金と労働奉仕によって2代目の教会として1902年に完成したものです。建物には約40万個ものレンガが使用され、三層構造の



世界遺産が決定し喜び関係者の皆さん（黒島地区公民館）

内壁やアーチ状の天井など、建設には大変な困難があったと思いますが、信仰を公にできる喜びが黒島天主堂建設の原動力になったと思われます。そして、完成からおよそ110年を経た今もなお、黒島で暮らすカトリック信徒の心のよりどころとなっている教会です。

カトリック教徒、仏教徒など信教の別を問わず、黒島島民の方々の中に先祖代々大切に受け継がれた生き方、心のあり方そのものが今回の世界遺産登録につながったものと思います。黒島島民の皆さま、そして、ご支援をいただきました市民の皆さまに深く感謝の意を表します。また、世界遺産登録の準備や調査、島民・信者への説明、申請、取り下げ、再申請、現地調査など、平成19年からさまざまな困難を乗り越えて、熱心に取り組んでくれた市担当部局の職員をはじめ関係各位に改めて感謝とおねぎらいを申し上げます。ありがとうございました。

今回の世界遺産登録を機に、多くの市民の皆さまが「黒島の集落」を訪問されますことを願っています。

佐世保市長 朝長 則男

徳育信 77

聞いて「徳」する話 38 わが心のオアシス

私が住んでいる花高団地を通り抜ける市道のほとりに、毎年今の時期に桃色のオアシスが出現します。そこには淡いピンク色をした月見草が群生するのです。地下に茎を張り巡らせ、中にはアスファルトと縁石とのわずかな隙間の隙間から花を咲かせるものもあります。梅雨の長雨にも夏の炎天下にもじっと耐え、天に向かって咲き続けます。

人は忙し過ぎると心が死んでしまい、自分を冷静に見つめ直す余裕も、他人を思いやる気持ちもそこからは生まれません。そんなときに、そのオアシスに咲いている一輪一輪の花を見つめると、自分の愚かさや気が付かされ深く反省します。この花の命はわずかな月ですが、私の心に息吹を与えてくれます。だから、この場所はわが心のオアシスとなっているのです。

花高1丁目 横岩 龍治（60代）



月見草 イメージ

「聞いて徳する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布し、市HPからダウンロードすることもできます。

佐世保徳育推進会議 ☎ 23・28556

人の動き (7月1日現在) 総人口 250,097人(前月比 -195人) 男性 118,397人(-81人) 女性 131,700人(-114人) 世帯数 105,681世帯(前月比 -12世帯) 6月中の動き 転入 436人、転出 538人 出生 146人、死亡 239人

お詫びと訂正 本紙7月号「施設だより」市立図書館17ページに「三吉美津子絵画展」と掲載しましたが、正しくは「末吉美津子絵画展」の誤りでした。お詫びして訂正します。